

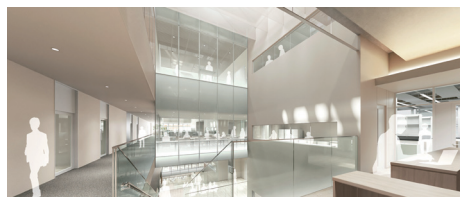
名称・キャンパス・入試枠、すべてが新しく。

名市大 理学部 2027年春、新ステージへ。



キャンパス移転 2027年、田辺通へ

名古屋市立大学の理学部の教育・研究活動は、2027年度に田辺通キャンパスへ移転します。新築される校舎には、最先端の研究設備と学修空間を整備。理学の学びにふさわしい、快適で創造的な環境がここに誕生します。



学部名称の変更 「理学部」に

これまでの「総合生命理学部」を改め、2027年度から「理学部」として再出発。学部の教育と研究内容がより明確になり、進路を考える高校生にとって選びやすくなります。名称に加え、教育体制や研究内容も大きく強化されます。



定員拡充 多様な入試が実現

学生定員が43名から90名へと拡大。入試は従来の後期日程40名を維持しつつ、新たに前期日程の40名が追加。また、学校推薦型選抜も10名に拡大されます。定員の拡大にあわせて、各分野のカリキュラムや研究環境もより一層進化します。サイエンスを学びたい・研究したいと希望する多くの学生の期待に応えます。

